

艇跡

2006年11月号

発行:名古屋工業大学漕艇部

編集:内出真以 荻原有騎

寒さが日に日に厳しくなる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。私達現役部員は新人戦を終え、冬のトレーニングを本格的に始めました。庄内川は朝夕ひとときわ冷えこみますが、寒さにも負けず皆元気に練習に励んでおります。この冬必ず自信をつけ、来シーズン勢いに乗って試合に臨んでいきます。今後も暖かいご支援ご声援の程よろしくお願い致します。



◆名古屋レガッタ

◆インカレ優勝祝賀会

◆中部学生新人選手権

◆名大新人戦

エルゴ大会 ◆年末年始行事のお知らせ

名古屋レガッタ

懐かしい顔も揃い、新旧のクルーが艇を並べる珍しい大会となりました。H16 年卒の同期クルー‘にこいち’はなんと五年ぶりの復活だったそうです。他の二つのクルーにおいては、競うのも大切ですが初めて組んだクルーとの乗艇を皆、楽しんでいました。

日程 : 9月17日(日)

場所 : 名古屋港漕艇センター 中川運河ボートコース 1000m

出漕種目 : 男子舵手付フォア

A	C:天野賢治	S:下手貴史	3:古川資生
	2:小掠隆広	B:小池亮介	
B	C:新海雄也	S:平雄二	3:土岐良太
	2:石川敦正	B:阿葉家淳	
にこいち	C:塚本浩輔	S:澤津貴弘	3:中川秀幸
	2:杉浦雅祥	B:中島明	

<予選>

着順	クルー名	1000m
1	南山大学	3'34"74
2	名古屋大学 B	3'42"31
3	名古屋工業大学 B	3'43"55
4	DNA. RC	3'59"52

着順	クルー名	1000m
1	名古屋大学A	3'27"90
2	にこいち	3'53"72
3	名古屋工業大A	除外

<敗復>

着順	クルー名	1000m
1	名古屋大学 B	3'46"98
2	名古屋工業大A	3'52"12
3	DNA. RC	3'58"94

着順	クルー名	1000m
1	名古屋工業大学 B	3'57"22
2	にこいち	4'10"04

<決勝>

着順	クルー名	1000m
1	名古屋大学A	3'35"18
2	南山大学	3'42"37
3	名古屋工業大学 B	3'51"52
4	名古屋大学 B	3'52"99

A クルーは予選でレーンを真っ直ぐに進めずに除外になるというハプニングもありましたが、怪我もなく無事に終わってなりよりです。



この日は、遠方から渡辺伸枝さんも駆けつけてくださり、H16 年卒は全員集合。久々の再会で、いつまでも思い出話が尽きない様子でした。同期がこうして集まれるのは素敵なことですね。



インカレ優勝祝賀会

10月14日(土)、栄の中日ビルで澤津インカレ優勝祝賀会を開いていただきました。学校関係者やOBの方々に大勢お集まりいただきました。お忙しい中、お越しくださりありがとうございました。澤津含め部員一同心から感謝しております。

部員たちにとっては皆様との交流を通して、様々なことを勉強させていただきました。また、来賓の皆様、OBの皆様も宴を楽しんでいらっしゃいました。終始にぎやかに行われ、二時間はあっという間に過ぎてしまいました。

〇〇祝勝会に来てくださった来賓・OBの方々(敬称略)〇〇

御名前		御名前		御名前	
学長	松井信行	学制課長	小粥基成	学生課係長	三木順
応用化学科学科長	多田豊				

卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前
特別会員		山内政勝	S33	D	木村弘之	S36	E	神谷昌宏
S35	C	外山信雄	S41	E	山田史朗	S44	F	星田吉明
S48	W	衣斐洋一	S50	Es	浜岡重男	S53	E	川村信之
S53	M	佐野武雄	S56	F	伊藤雅啓	S57	E	竹下隆晴
H15	D	川嶋教孔	H16	M	中川秀幸	H17	M	小島隼人

〇〇白艇会費、寄付金を下さった方(敬称略)〇〇

卒業年度	学科	御名前
H16	M	中川秀幸

ありがとうございました。大切に使用させていただきます。

S36年卒の佐藤弘さんからは祝電を頂戴しました。ありがとうございました。この場を使って御礼させていただきます。



中部学生新人選手権

波も風も穏やかだったこの日。天候とは裏腹に一年生は緊張の面持ちでした。デビュー戦は一年生それぞれの胸にほろ苦く刻まれたようです。出漕数が少なかったために男子エイト、女子ダブルスカルともに一発決勝となりました。

日程	: 2006年10月28日(土)・29(日)											
場所	: 愛知県愛知郡東郷町 愛知池漕艇場											
出漕種目	男子エイト	<table border="1"> <tr> <td>C:新海雄也</td> <td>S:小池亮介</td> <td>7:古川資生</td> </tr> <tr> <td>6:森昭人</td> <td>5:仙田貴昭</td> <td>4:土岐良太</td> </tr> <tr> <td>3:大隅溪</td> <td>2:後藤史典</td> <td>B:平雄二</td> </tr> </table>		C:新海雄也	S:小池亮介	7:古川資生	6:森昭人	5:仙田貴昭	4:土岐良太	3:大隅溪	2:後藤史典	B:平雄二
C:新海雄也	S:小池亮介	7:古川資生										
6:森昭人	5:仙田貴昭	4:土岐良太										
3:大隅溪	2:後藤史典	B:平雄二										
	女子ダブルスカル(S・鬼頭侑子 B・池井修子)											

男子エイト

<決勝>

着順	クルー名	500m	1000m
1	富山国際大学	1'32"92	3'08"01
2	名古屋工業大学	1'35"81	3'12"93

スタートで失敗してしまったことにより、序盤から富山国際にリードを許す形となった。前半で約一艇身の差がついてしまった。後半以降、徐々に差を詰めていったがラストスパートで艇速が伸びきらず、逆に差を広げられてしまった。
(C・新海)

女子ダブルスカル

<決勝>

着順	クルー名	500m	1000m
1	岐阜経済大学	1'52"09	3'49"04
2	南山大学 A	2'01"34	4'07"81
3	南山大学 B	2'03"38	4'09"45
4	愛知教育大学	2'05"59	4'13"96
5	名古屋工業大学	2'11"47	4'22"06

スタートの練習不足だったせいかわスタートで息が合わず、出遅れてしまった。中盤で追い上げ差を詰めたが、スパートで再び離されゴールした。
(B:池井)



□□クルーの言葉□□

男子エイト

B.平雄二（3年）

エイトは次週に控えている名大新人戦に向けて、9月からの約2ヶ月間厳しい練習を行ってきました。この大会は、勝って弾みをつけるつもりで臨みましたが、結果はスタートで先を越されゴールまで追いつくことができずに負けてしまいました。新人クルーだったので、特に一年生は緊張していて練習の成果を100パーセント出せなかったのが悔しかったです。名大新人では、この経験をいかし、エイトとして培ってきた力を全て出して絶対に勝ちたいです。

7.古川資生（2年）

今回の中部新人選手大会は一年生にとっては初の試合で、二年生にとっては一年の練習の成果を試す試合だったと思います。今現在8+は2000mの練習を行っていますが、今回の1000mの試合では緊張からか、いつもより皆疲れるのが早かった様です。しかし新人戦は後先考えずに持てる力を思い切りぶつけるというのが大切なので、今回のレースで得られた物は大きいと思います。次の名大新人に向けてこれからまたモチベーションを高めていきたいと思っています。

6.森昭人（1年）

僕達一年生にとっては初めてとなるこの大会、当日は大きな不安と緊張に駆られるばかりでした。レース前は、隣に相手のクルーがいるという状況の中で今まで通りに漕ぐことができるかとても心配でした。しかし、いざ試合が始まるとそんな心配はどこかへ吹っ飛び、無我夢中で漕いでいました。1000mという距離はあっという間に終わってしまい、先輩たちがおっしゃっていた「頭が真っ白になる」という意味がよく分かりました。試合は負けてしまいましたが、レースの楽しさを味わえ、同時に勝ちたいという気持ちになりました。日々の練習は大変ですが、毎日精進して少しでも成長していきたいです。

5.仙田貴昭（1年）

一言で言うと悔いが残る試合でした。スタートで切り込んでしまい、その分をなんとか取り戻そうとしましたが、逆に差が開いてしまいました。最終的には富山国際の艇が見えなくなってしまうという虚しさを感じました。しかし9人で力を合わせて艇を進めた感じはいつも以上に感じる事ができました。次の名大新人では後悔するような漕ぎをしないように、練習通り全力を出して勝ちたいです。

女子ダブルスカル

S.鬼頭侑子（1年）

初めての試合ということで緊張していたのは分かっていましたが、その程度が自分の思っていたよりも大きかったと自覚したのはレース終了後でした。キャッチのタイミングがずれていたと言われ、コーチに言われていたこともレース後半では飛んでしまったことに気付きました。それほどに、私の中ではこの試合は大切だったのだと思います。一艇も抜けなかった悔しさ、次は勝ちたいという思

い、スタートが上手くいかなかった等の反省点。この試合で得るものは多かったです。また、二人で1000mを漕ぎきったこと、レースがどんなものなのかをこの体で感じられたことを、とても嬉しく思います。この経験を次にいかしていきたいです。

〇〇応援に来てくださった方々(敬称略)〇〇

卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前
S48	W	衣斐洋一	S53	M	佐野武雄	S57	E	竹下隆晴
H10	I	石黒新治	H10	Zk	鈴木秀忠	H10	Zw	中西浩二
H16	F	塚本浩輔						

〇〇白艇会費、寄付金を下さった方々(敬称略)〇〇

卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前
S48	W	衣斐洋一	H10	I	石黒新治	H10	Zw	中西浩二

ありがとうございました。大切に使用させていただきます。



名大新人戦

日程 : 2006年11月4日(土)
 場所 : 庄内川 一色大橋～旧前田橋 1810m
 出漕種目 : 男子エイト
 (C:新海雄也 S:小池亮介 7:古川資生
 6:森昭人 5:仙田貴昭 4:土岐良太
 3:大隅溪 2:後藤史典 B:平雄二)
 女子シングルスカル(池井修子)

男子エイト

着順	クルー名	コース	タイム
1	名古屋大学	in	5'54"85
2	名古屋工業大学	out	6'02"76

今回も中部新人のときと同様、スタートで失敗してしまった。スタート後少し差が縮まったが、大蟠螂橋を越えてから徐々にレートも艇速も落ち始め、名大に引き離されてしまった。足、蹴り、スパートをいれても差は縮まらず、そのままゴールとなった。(C:新海)

女子シングルスカル

着順	クルー名	コース	タイム
1	名古屋大学	in	8'27"79
2	名古屋工業大学	out	8'52"47

スタートから経験の差を見せ付けられ、引き離された。中盤はコース取りがうまくいかず、思うように艇が進まなかった。「もっと真ん中に寄せ！」という西雪コーチの声が聞こえ、何とかコースを正す事が出来た。船台付近で皆さんの声援が聞こえ、最後まで漕ぐ事ができた。(池井)



□□クルーの言葉□□

男子エイト

4.土岐良太（3年）

スタートから離されていくばかりのレースだった。このレースに向けて十分に準備をして臨んだつもりだったがまだまだだった。厳しい練習をこなしただけでは自己満足でしかないと言われたが、言われてみると否定出来ないところもあった。一年生は漕歴二ヶ月の伸び盛り。この冬、一年生の伸びに負けないうらい自分も成長して最後の名大戦で勝利を味わいたい。

S. 小池亮介（2年）

今シーズンの最後を飾るべく臨んだ試合。勝ちにこだわったレースは初めてでした。下級生がいたから、今までの様に自分に甘えることなく、高いモチベーションを保って練習できたと思います。しかし、結果は負けです。自分自身の力、クルーの力をもっと高められなかったのが、悔やまれます。やはり、まだまだ甘さがあり、追い込みが足りなかったです。冬は自分に厳しく、しっかり力をつけていきたいです。また、下級生も引っ張っていきます。

3.大隅溪（1年）

今回は二度目の試合ということでしたが、前回以上に緊張して試合を迎えました。その緊張のせいか焦ってしまい、いつものように漕げませんでした。結果は負けてしまい、とても悔しく、このままじゃ嫌だと思いました。自分としては精一杯やったつもりでした。でも本当にそうだったのか。嫌々やってはいなかったか。そういうことが今回の結果につながったのではないか、と思いました。これ以上悔しい思いをしないために、自分に甘えずにやっていきたいです。

2.後藤史典（1年）

名大新人戦までの二ヶ月の練習は自分にとってはかなりハードなメニューであり、それだけに勝つ自信があった。しかし、結果は負けということになり、今まで経験した事のない悔しさを感じました。しかしよく振り返ってみると、その中で得たものは大きく、また反省すべき点もまだまだたくさんあることに気付きました。来年こそは、後悔の残らないよい試合が出来るよう、体力面でも精神面でもさらに自分を鍛えていきたいと思っています。

女子シングルスカル

池井修子（1年）

今回の名大新人は相手のクルーが一人しかいないということで、シングルでの出漕となりました。中部新人はダブルで出たため、シングルでの練習は一週間だけでした。絶対負けると分かっている、初めはあまりやる気も出ませんでした。マネージャーや漕手の皆さんの励ましもあって、試合に臨むことができました。開会式で「結果は試合前に決まっている」とありましたが、その言葉を忘れないように練習に励みたいと思います。

〇〇応援に来てくださった方々(敬称略)〇〇

卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前
特別会員		山内政勝	S48	W	衣斐洋一	S57	E	竹下隆晴
H10	I	石黒新治	H10	Zk	鈴木秀忠	H10	Sa	原田重信
H16	F	塚本浩輔	H16	M	中島明	H17	Zy	羽生田真英
H17	Zy	西雪健次朗	H17	Sc	荻須美樹			

〇〇寄付金を下さった方(敬称略)〇〇

卒業年度 学科 御名前

S48 W 衣斐洋一

ありがとうございました。大切に使用させていただきます。

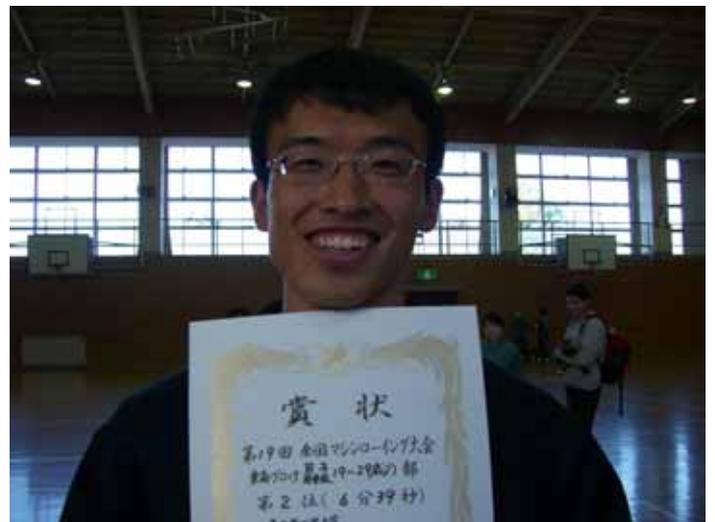




エルゴ大会

11月12日(日)愛知県東郷町諸輪中学校で、エルゴ大会が行われました。一年生がなかなかの健闘をみせました。今回は故障等で参加人数が少なくなっております。

学年	名前	2000m タイム	澤津は軽量級第2位、池井はオープン参加第4位を獲得しました。
4年	澤津貴弘	6'39"0	
3年	平雄二	7'23"4	
	土岐良太	7'11"2	
2年	新海雄也(cox)	8'04"0	
1年	後藤史典	7'24"4	
	大隈溪	7'51"6	
	森昭人	7'16"9	
	仙田貴昭	7'43"1	
	池井修子	8'38"1	



今後の予定

今後の試合予定をお知らせします。

忘年会

日程 : 2006年12月29日(土) 18時～
場所 : 鶴舞公園内 萩乃茶屋
会費 : 5000円

この日ばかりは一年の苦勞を忘れ、来年の抱負を語り合い、皆様と楽しいひと時を過ごしたいと思います。年の瀬のお忙しい時期とは存じますが、ぜひお越してください。

初漕ぎ会

日程 : 2007年1月6日(土)
場所 : 庄内川艇庫

新春の一漕ぎを私たちと一緒にしていただけますか。一年の始まりに皆様にお会いできることを楽しみにしております。

尚、お手数ではございますが、同封されています出欠確認はがきにご出席・ご欠席をご記入の上、ご返送願います。年末年始でお忙しいとは存じますが、現役とOBが交流できる良い機会です。部員一同心よりお待ちしております。